



自由民主党 衆議院議員
みやじ拓馬

社会は変えられる。さあ、ともに歩もう。

みやじ拓馬通信 Vol.43

衆議院議員総選挙を終えて

この度の衆院選におきまして、3期目の当選を果たすことができました。私にとって初めてとなる鹿児島1区での戦いは大変厳しいものがありましたが、多くの皆様からご支援いただき、選挙区での当選を果たせたことに心から感謝申し上げます。

皆様からいただいた101,251票の重みをしっかりと胸に刻み、今後は仕事で恩返しです。引き続き、これまでの固定観念にとらわれることなく、選挙戦で訴え続けたフェムテックをはじめとする女性活躍推進や障害福祉、子ども・子育てなど「自民党っぽくない」政策を力強く推進し、「多様で公正な社会の実現」に向け、全身全霊で頑張ってまいります。



選挙戦を振り返って

4年前の衆院選の翌日から活動を開始した鹿児島1区での戦いは決して容易なものではありませんでした。長らく続いた支部長問題が決着したのは選挙戦のわずか2か月前。しかも相手は10回目の立候補となる当選6回のベテラン議員。知名度の差は圧倒的でした。

そんな中、多くの出会いに恵まれ、気付けば周りに沢山の仲間がいました。辻立ちの際、「拓馬、頑張れ!」とお声がけくださった通勤途中の男性、街中でお声がけくださった買い物帰りのご婦人、ビールを受け取ってくださった子連れのお母さん。まだ選挙権も持たないお子さんも「頑張ってください」と声をかけてくれました。選挙戦を通じて生まれたご縁や絆、そして出会いのすべてが大きな力となり、激戦を制することができたことに、あらためて感謝申し上げます。



内閣府大臣政務官を拝命

選挙後の閣議において、内閣府大臣政務官を拝命しました。選挙戦で訴え続けた女性活躍推進や障害福祉、子ども・子育て施策を担務とする大変重要なポストです。

官邸での辞令交付と政務官会議を終え、正式に政務官としての仕事が始まりました。早速、岸田政権の第一目一番地である「こども庁」の創設に向けた議論が佳境を迎えています。総務大臣政務官時代と同様、仕事でしっかりと結果を出せるよう精進してまいります!



当選翌日より辻立ち開始

～3期目も決意あらたに皆様にご挨拶～



当選翌日から辻立ちを行いました。多数のメディアが取材に訪れる中、登校途中の男子生徒から握手を求められたり、多くの方が車内から手を振ってくださったり、クラクションを鳴らしてくださったり。期待の大きさに身が引き締まる思いでした。今後もこれまで同様、地道にコツコツ草の根で頑張っています！

当選後、国会議事堂へ初登院

～再び仕事ができる喜びを胸に～



皆様のご支援により再び国政の場に送り出していただき、無事に国会議事堂に登院することができました。早速コロナ対策のための今年度補正予算や来年度予算の編成作業など重要な局面を迎えますが、3期目の議員として重責を担いつつ、より一層地元のために汗をかいてまいります！

拉致問題解決へ決意あらたに

～責任世代の政治家として～



内閣府大臣政務官として「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」に出席しました。地元・鹿児島で市川修一さんと増元るみ子さんが北朝鮮により拉致されたのは私が生まれる前年のことです。もはや一刻の猶予も許されません。責任世代の政治家として、拉致問題の解決に全力を尽くしてまいります！

鹿児島県開発促進協議会

～地元の要望を伺いました～



鹿児島県開発促進協議会に出席。塩田知事や県議会議長をはじめ、県幹部の方々より政府の予算編成等に関する重点提案事項の説明を受け、意見交換を行いました。

内閣府大臣政務官は「地方創生」も担当します。県都の衆議院議員として、要望内容の実現に全力で取り組んでまいります！

真の女性活躍推進に向けて

～野田・三原・宮路ラインの結成～



選挙戦で応援に来ていただいた三原じゅん子さんが内閣府大臣補佐官に任命されました。三原補佐官とは、これまでフェムテックの振興や子宮頸がんワクチンの問題など、様々な施策でもともに仕事をさせていただき、先の総裁選でも野田聖子さんの推薦人としてともに戦った間柄です。今後は同じ内閣の一員として野田大臣を支えてまいります！

鹿児島の茶業振興に向けて

～お茶どころ鹿児島を盛り上げる～



鹿児島中央駅前広場で開かれた「お茶一杯の日鹿児島2021」に参加しました。一昨年、鹿児島はお茶の産出額でついに日本一となりました。私も自民党茶業振興議員連盟の一員として、次なる目標である「生産量日本一」に向け、力を尽くしてまいります。皆さんもぜひ鹿児島のお茶をお楽しみください！

最新情報を更新中、是非登録をお願いします！



LINE



Twitter



Facebook

